



すずらん

たのもしく ただしく たくましく

天理市立福住小学校

第7号 令和元年11月13日

文責 神元 聡

行事とともに成長する子どもたち

学校のそばを流れる小川に、平坦とは少し変わった美しい色のドジョウが泳いでいます。いくつかの学級では、そのドジョウを育てていますが、子どもたちが観察していくうちに、絶滅危惧種の「アジメドジョウ」ではないかと、ここ最近全校児童の間で盛り上がっています。

二学期は、「体育大会」を皮切りに、「修学旅行」「秋の遠足」「天理市音楽会」と教室を離れて行う活動が多く行われました。これまで学級で学んだことを実際の場面で生かせるかを試す活動です。こういった活動では、大きく二つの学びがあると思います。一つは、「異学年による学び合いの場」としての学びです。ここでは、縦割り班による子どもたちどうして問題を解決していく機会にたくさん巡り会えます。また、他学年の仲間が頑張っている姿を間近に見ることができ、自分たちのやる気にもつながります。もう一つは、「ホンモノ」に触れることができるということです。教科書中の写真や図表ではなく、実際の場所（原爆ドームや里山）に赴き、自分の五感で感じ、そこで体験したことや感動したことを率直に仲間と意見交換する。この二つの学びで「生きる力」をじっくりと培ってくださることを期待しています。また、新聞などのホンモノの情報を使うことも大切にしていきたい活動であると考えています。

冒頭の期待が高まるドジョウなのですが、実は、専門家の先生に鑑定をしていただきました。鑑定結果は、「アジメドジョウ」ではないとのことで、全校児童・教職員一同、意気消沈しています。しかし、キラキラと目を輝かせながら、ひげの数や模様を調べていたあの子どもたちの熱い情熱に満ちた知的好奇心は、これからも大切に育んでいこうと決意を新たにしています。

～修学旅行 ヒロシマ平和学習～



秋晴れのもと6年間の総仕上げとして行われた修学旅行。平和記念公園では、被爆2世である岸本先生の説明とともにヒロシマを肌で感じ取りながら巡回することができました。また、リニューアルされた原爆ドームでは、最新の映像により、改めて戦争の怖ろしさと平和の大切さを、五感を使って学ぶことができました。また、世界文化遺産の厳島神社では、大鳥居は修復工事のため覆われていましたが、宮島の土地を実際に踏みしめ、壮大な建築物を手で触れることで、歴史の偉大さを感じることができました。素晴らしい思い出を素敵なお友達の仲間とつくりあげた旅行となりました。



～秋の遠足～

1年生から5年生は、秋を探しに「神野山」へ遠足に行きました。今回は、縦割り班リーダーとして、5年生に全てが任せられましたが、しっかりとまとめてくれました。大成功！



～市音楽会～

3・4年生は朝の時間や休み時間を返上して練習してきました。「きょうりゅうとチャチャチャ」（歌唱）、「パプリカ」（器楽）共に最高のパフォーマンスを見せてくれました。



新聞のある環境

学校で購読している「朝日子ども新聞」の他に、「毎日新聞」のご協力により、高学年は全員に他の学年は学級に1部、毎朝届けられています。また、保護者の皆様のご協力もあり他の5紙の新聞も見ることができます。本校では、新聞が身近になっています。



～風邪にご注意～

27日のマラソン大会に向けて、「校内かけ足」が始まりました。また、風邪を予防するために、福小恒例の「紅茶うがい」も開始です。手洗い・うがいの励行と睡眠と栄養の十分な摂取についてご家庭でもご協力よろしくお願ひします。